



第2代 皆見 <sup>せいご</sup> 省吾 教授

昭和6年(1931)4月～昭和23年(1948)4月

- 明治26年(1893)11月1日 広島市にて出生  
大正7年(1918)12月 東京帝国大学医科大学卒業  
大正8年(1919)1月 東京帝国大学医科大学教室入局  
(皮膚科)  
大正11年(1922)6月 文部省在外研究員として渡欧  
大正13年(1924)8月 帰朝  
大正13年(1924)10月 岡山医科大学教授(皮膚科)  
昭和6年(1931)4月 九州帝国大学医学部教授(皮膚科)  
昭和17年(1942)6月 九州帝国大学医学部附属病院長  
(任期2年)  
昭和23年(1948)4月 九州大学退官・福岡市にて開業  
昭和25年(1950)5月 九州大学名誉教授  
昭和35年(1960)4月 日本皮膚科学会名誉会員  
昭和50年(1975)9月6日 逝去(81歳)

官位：従三位(昭50) 叙勲：勲三等(昭50)

受賞：日本医師会最高優功賞(昭41)



## 第二代教授

皆見省吾(みなみ せいご)先生 昭和6(1931)年4月- 昭和23(1948)年3月



- 梅毒の治療に関する研究。
- 真菌学とりわけ酵母菌の研究。
- 著書『皮膚病梅毒学』は、我が国の皮膚科学教科書のスタンダード。
- 昭和8(1933)年より『皮膚と泌尿』(現、西日本皮膚科)を創刊。
- 日本皮膚科学会へ基金を寄せられ、「皆見賞」の創設。





